受付印

令和 9 年 1 月 6 日

岐阜県　揖斐郡　池田町長　様

令和 9 年度 記入例 <前年度以前に申告された方>

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

個人の方は12桁、法人の方は13桁のマイナンバー(個人番号・法人番号)を記入して下さい。

所有者

(ふりがな) 1 住所 (又は納税通知書送達先)
いけだちょう　ろくのい
池田町　六之井　○○○○　番地の　△

(電話　0585-○○-○○○○　)

(ふりがな) 2 氏名 (法人にあってはその名称及び代表者の氏名)
いけだしょうきゃく　いけだ　たろう
株式会社　池田償却メカニック　代表取締役　池田　太郎　代表印

(屋号　池田メカ　)

法人の場合は、法人名と代表者名を記入、押印して下さい。

3	個人番号又は法人番号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
4	事業種目 (資本等の金額)	精密機械製造業 (40 百万円)
5	事業開始年月	平成 18 年 11 月
6	この申告に応答する者の係及び氏名	(電話　経理部 池田 二郎　0585-○○-○○○○)
7	税理士等の氏名	(電話　岐阜　三郎　0585-○○-○○○○)

税理士、税理士法人の場合には、税務代理権限証書を添付して下さい。

8	短縮耐用年数の承認	有 ・ (無)
9	増加償却の届出	有 ・ (無)
10	非課税該当資産	有 ・ (無)
11	課税標準の特例	有 ・ (無)
12	特別償却又は圧縮記帳	有 ・ (無)
13	税務会計上の償却方法	(定率法) ・ 定額法
14	青色申告	(有) ・ 無

該当する方を○で囲んで下さい

取得価額

	資産の種類	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計(イ)-(ロ)+(ハ))
1	構築物	3,650,000			3,650,000
2	機械及び装置	12,528,000	5,200,000	36,000,000	43,328,000
3	船舶				
4	航空機				
5	車両及び運搬具				
6	工具、器具及び備品	780,000	380,000	2,536,400	2,936,400
7	合計	15,958,000	5,580,000	38,536,400	49,914,400

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地

① 池田町六之井○○○○番地の△
② 池田町池野○○○番地の△

住所と資産所在地が同一の場合も含めて町内全ての資産所在地を記入して下さい。書き切れない場合は、備考欄又は別の用紙(様式自由)に記入して下さい。

該当する方を○で囲み、有の場合には、貸主の名称、住所、電話番号を記入して下さい。

16 借用資産 ((有)・無)

貸主の名称等
○○リース(株)　岐阜市○○△丁目△番地
058-○○○-○○○○

17 事業所用家屋の所有区分　自己所有 ・ 借家

該当する方を○で囲んで下さい。

	資産の種類	評価額 (ホ)	決定価格 (ヘ)	課税標準額 (ト)
1	構築物			
2				
3				
4	航空機			
5	車両及び運搬具			
6	工具、器具及び備品			
7	合計			

前年度の償却資産申告書の取得価額の計を記入して下さい。

償却資産で減少した資産を種類別に記入のうえ、合計額を記入して下さい。

償却資産で増加した資産を種類別に記入のうえ、合計額を記入して下さい。

備考欄には、次の様な事項を記入して下さい。
①添付書類がある場合には、その名称
②前年中に所有者の住所、氏名又は名称等に異動があった場合は、異動年月日、旧住所及び名称
③納税管理人を定めている場合は、納税管理人の住所、氏名
④企業独自の様式により申告される場合は、資産種類別に集計した資産件数
⑤その他この申告に必要な事項

18 備考(添付書類等)

例1　令和○年○月○日(株)○○を吸収合併　○年○月名称変更
旧)　(株)○○　池田町○○　△番地
新)　(株)△△　池田町○○○　△番地の□
例2　申告書送付先の変更希望　新)池田町○○△番地の□□
例3　独自様式にて申告(資産種類別に集計した資産件数を添付)

次に該当する方も○印をつけて提出してください。

(1) 資産の増減なし
2 該当資産なし
3 廃業ほか(　年

・前年中に資産増減なし
・該当資産がなし
の場合も、該当箇所を○で囲んで申告書を提出して下さい。
・廃業のほかの場合は、○で囲み、廃業(休業)された年月

整理番号

令和 9 年度

種類別明細書（増加資産・全資産用）

記入例＜前年度以前に申告された方＞

※市町村コード	所有者コード（宛名番号）

所有者氏名	1枚のうち
株式会社　池田償却メカニック	1枚目

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 年号	年	月	取得価格（イ）	耐用年数	減価残存率	課税標準額	増加事由	摘要
01	1		アスファルト舗装	1	4	21	8	3,650,000	10	0.		1・2・3・4	
02	2		フラットパネルディスプレイ	1	4	28	10	7,328,000	08	0.		1・2・3・4	合併による受入れ R8.3
03	6		応接セット	1	5	6	11	1,260,000	08	0.		1・2・3・4	R8年度申告漏れ
04	6		４６型テレビ	1	4	25	6	375,900	05	0.		1・2・3・4	R8.10〇〇市より受入れ
05	6		パソコン	1	4	30	9	400,000	04	0.		1・2・3・4	
06	2		太陽光パネル（９００ｋｗ一式）	1	5	8	6	36,000,000	17	0.		1・2・3・4	
07	6		コピー機	1	5	8	9	620,500	05	0.		1・2・3・4	
08	6		ルームエアコン	1	5	8	10	280,000	06	0.		1・2・3・4	
09										0.		1・2・3・4	
10										0.		1・2・3・4	
11												1・2・3・4	
12												1・2・3・4	
13												1・2・3・4	
14										0.		1・2・3・4	
15												1・2・3・4	
16												1・2・3・4	
17												1・2・3・4	
18										0.		1・2・3・4	
			小　計					19,914,400					

課標特例該当　地方税法附則第15条第24項第1号イ　2/3

【増加事由】
該当する増加事由を〇で囲んで下さい。
1＝新品取得
2＝中古品取得
3＝移動による受け入れ
4＝その他

3の場合は、摘要欄に移動前の所在地を記入して下さい。

4の場合は、摘要欄に理由を記入して下さい。

【資産の種類】
以下の数字で記入して下さい。
1＝構築物（建物付属設備含む）
2＝機械及び装置
3＝船舶
4＝航空機
5＝車両及び運搬具
6＝工具、器具及び備品

【資産の名称等】
資産の名称を記入して下さい。

【取得年月】
3＝昭和
4＝平成
5＝令和

例）令和7年10月取得の場合は、「50710」となります。

【取得価格】
当該資産の取得価格を記入して下さい。

【耐用年数】
法人税及び所得税における法定耐用年数を記入して下さい。

【摘　要】
・課税標準の特例が適用されている資産は適用条項・特例率、短縮耐用年数を適用している資産、増加償却を行っている資産は、その旨を摘要欄に記載してください。
・資産の価格の決定について必要な事項がある場合や、資産が増加した事由について特記すべき事項がある場合は、その旨表示してください。
・耐用年数の改正に該当する場合は、改正年と改正後の耐用年数を記入してください。

注意　「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに〇印をつけてください。

令和 9 年度

種類別明細書（減少資産用）

記入例＜前年度以前に申告された方＞

＊市町村コード	所有者コード（宛名番号）	所有者氏名	1枚のうち
	G	株式会社　池田償却メカニック	1枚目

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 年号	年	月	取得価格（イ） 十億	百万	千	円	耐用年数	申告年度	減少の事由及び区分 1 売却 2 滅失 3 移動 4 その他	減少の区分 1 全部 2 一部	摘要
01	6		パソコン	1	5	1	12			380	000	04		1・②・3・4	1・②・2	R8.8　廃棄
02	2		フラットパネルディスプレイ	1	4	29	11		5	200	000	08		1・2・③・4	1・②・2	R8.8　廃棄
03														1・2・3・4	1・2	
04														1・2・3・4	1・2	
05																
06																
07																
08																
09																
10																
11																
12																
13																
14																
15														1・2・3・4	1・2	
16														1・2・3・4	1・2	
17														1・2・3・4	1・2	
18														1・2・3・4	1・2	
			小　計						5	580	000					

【資産の種類】
以下の数字で記入して下さい。
1＝構築物（建物付属設備含む）
2＝機械及び装置
3＝船舶
4＝航空機
5＝車両及び運搬具
6＝工具、器具及び備品

【資産の名称等】
減少した資産の名称を記入して下さい。

【取得年月】
3＝昭和
4＝平成
5＝令和

例）平成30年12月取得の場合は、「43012」となります。

【取得価格】
当該資産の取得価格を記入して下さい。

【耐用年数】
法人税及び所得税における法定耐用年数を記入して下さい。

【減少の事由】
該当する減少事由を〇で囲んで下さい。
1＝売却
2＝滅失
3＝移動
4＝その他

3の場合は、摘要欄に移動後の所在地を記入して下さい。

4の場合は、摘要欄に理由を記入して下さい。

【減少の区分】
該当する減少区分を〇で囲んで下さい。
1＝全部
2＝一部

資産が減少した場合には、摘要欄に除去年月と理由を記載して下さい。
例）R7.8廃棄